



政策セミナー講師
滝田洋一さん

政策討論集会で説明する役員(左より)
田中事務局長 奥田労働政策局長 米村執行委員

政策・制度は連合運動の大切な柱 — 連合鳥取「労働政策セミナー・政策討論集会」を開催 —

【労働政策セミナー】
「アベノミクスの行方と今後の日本経済」と題し、日本経済新聞社編集委員の滝田洋一さんから講演をいただきました。
アベノミクスの説明として①大胆な金融緩和、②機動的な財政出動、③民間主導の成長戦略がありました。何故、金融緩和が有効なのか、財政出動は安倍首相より麻生財務大臣の考えが主導されていること、思惑どおりに株価上昇しているが副作用もあること、そして、現在がその局面にあり長期金利の上昇も警戒しなければならぬが、新興国の減速やユーロ圏の不安定さが結果的に日本経済を安定させているので、この経済政策で日本経済の中長期の成長期待を生み出せるか、すなわち、設備投資・賃上げにつなげることができかが最大のテーマとなることなど、丁寧な説明とたとえ話を聞いたわかり易い講演でした。

連合鳥取は6月22日(土)倉吉未来中心で「労働政策セミナー! 政策討論集会」を開催しました。当日は、構成組織及び単組から111人の参加があり、会場が満席となるほど盛況な集会となりました。
最初に主催者を代表して連合鳥取五十嵐会長が「政策・制度は連合運動の大切な柱の一つであり、構成組織から提出された政策・制度要求を執行委員会で議論し、8月には鳥取県や鳥取労働局へ提出していく」とあいさつをされました。
【政策討論集会】
2014年度連合重点政策7項目について、連合鳥取田中事務局長が連合本部作成のリーフレットを使って説明しました。その後、「連合鳥取2014年度政策・制度要求(素案)」の説明は、田中事務局長、奥田労働政策局長、米村執行委員の順で33項目の要求項目作成の意図・経過などを説明しました。この要求項目は、7月の執行委員会で議論して成案にするので、更に要求項目を連合鳥取まで提出して欲しいと締めくくりました。
最後に、五十嵐会長が「参議院選挙勝利しよう!」と団結ガンバローを三唱し閉会しました。

◆今後の日程◆

- ・7月18日(木)
「第8回(拡大)執行委員会」
／要求内容決定
- ・8月上旬
知事へ要求書提出
- ・8月下旬～9月上旬
部局交渉

参議院選挙
7/4 公示 7/21 投票

毎日が投票日

期日前投票をしよう!

期日前投票は、公示日以降毎日投票できます

いまこそ、暮らしの底上げを!

— 「STOP THE 格差社会!暮らしの底上げ実現」キャンペーン

最低賃金の引上げと遵守を求める全国行動・鳥取県内で実施 —



鳥取県の最低賃金は
1時間あたり **653円**
これより低い賃金は **法律違反**です

連合は「STOP THE 格差社会!暮らしの底上げ実現」キャンペーンの一環として、非正規労働者の処遇改善に大きな影響がある「最低賃金の遵守と引上げ」について世論を喚起することを目的に、5~6月に「最低賃金の引上げと遵守を求める全国行動」を展開しました。

◇参考

http://www.jtuc-rengo.or.jp/info/stop_the_kakusa/index.html

連合鳥取は、6月20日(木)、降りしきる雨の中、執行委員会役員を中心に、JR鳥取駅の北・南口に分かれ、街頭演説を行いながら、ポイントに掲載したチラシ・ポケットティッシュを配布しました。

連合本部より須田総合労働局長も鳥取に駆けつけ、五十嵐会長、奥田副会長とともに、①最低賃金の引き上げで社会の底上げを図る ②労働者保護を後退させる労働規制緩和を許さない ③だれもが安心して暮らすことのできる「全世代支援型」の社会保障制度をつくる ④「雇用機会均等法」の改正と職場での活用による女性保護・男女平等参画社会を実現する ⑤職場の問題解決で、働きがいのある明るい職場づくりをめざすことを強く訴えました。

チラシを受け取ってくださった方の中には「知り合いに653円ギリギリの時給で働いている人がいる。しかもフルタイムの働き方で働きたいがそれも叶わず5時間程度のパートの仕事しかない。こんなことで生活できるわけがない!」と訴えてこられる人もいました。

また、今回は、はじめて鳥取県内すべての市町村を3日かけて街宣車でまわり、連合の取り組みを広くアピールしました。

◇安倍政権では、クビ切り自由化などの労働者保護ルールの改悪が非公開で話し合われていましたが、6月に決定された「成長戦略」では、その導入は見送られたようにも見えます…。しかし、労働者保護ルールの改悪は先延ばしされただけで、検討課題としてしっかり残されています! 7月21日(日)投票の参議院選挙の結果によっては、労働者保護ルールの改悪が行われかねません。**働く者の結集で阻止しよう!**

“クビ切り自由化”は許さない!

「クビは無効!」と裁判で労働者が勝っても、会社はお金さえ支払えばクビにできる?

⇒ こんな仕組みができます

不当にクビにされた労働者は、裁判に勝ったのだから元の職場に戻れて当然。しかし、本人がどれほど職場復帰を望んでも、会社がお金さえ支払えば、結局、クビになってしまいます!

“残業代ゼロ制度”の導入は許さない!

何時間残業しても残業代が支払われない?

⇒ こんな制度ができます

一定年取以上の労働者は、どれだけ長時間の残業をしても、残業代がゼロになってしまいます。「ただ働き」となるうえに、長時間労働にも拍車がかかることでしょう!



街頭で訴える五十嵐会長(左から52番目)と須田連合総合労働局長(中央)

組織の垣根を越え地域で交流、身近な学習の場を活用しよう

— 西部地協「労働大学」「公的年金学習会」を開催 —

西部地協は5月31日(金)~6月1日(土)、日吉津村の「うなばら荘」において、初の試みとなる「第1期労働大学」を開校し、女性活動家約10人を含む50人が入校しました。この背景は、昨年12月総選挙での自民党の復権によって、東日本大震災からの復興支援策はもとより、憲法改訂問題をはじめ労働規制の大幅な緩和政策、進展しない社会保障や再生可能なエネルギー政策等など、わが国喫緊の重要課題について将来展望に不透明感が増すなかで、労働組合・生活者としての現状把握と分析・研究を目的に開催しました。

1日目は、元衆議院議員の金子哲夫さんから「憲法を身近な存在にしよう」、そして前衆議院議員である湯原俊二さんからは「自民党アベノミクスの正体」をテーマとして講義と意見交換を踏まえて休憩・入浴タイムに、懇談会では参加者紹介をはじめ各産別や地域の課題をおおいに議論、有意義な初日を過ごしました。

2日目は9時から、連合鳥取推薦議員である浜田妙子鳥取県議会議員から「わが国の社会・経済を支えた女性パワー」として講義を受けました。そして西部地協事務局から「現行憲法と自民党草案の比較:隠された課題」の提起を行ったのち、中島ちから議長から「…難関の学習過程を終了したことを証す」として修了証書を手渡し、第2期大学の開校を確認しました。参加者からは、「寝食を共にする中で様々な会話の機会を得た」「産別を超えた2日間の交流は意義が大きい」などの意見が寄せられました。

また西部地協は、第4回目を数える「公的年金学習会」を6月6日(木)に「教育会館よなご荘」において開催し、約80人の参加者が2時間程度学習しました。学習会の講師は井上西部地協事務局長が行い、①公的年金の仕組み、②60歳以降の働き方で変わる在職老齢年金の仕組み、③民主党が示した年金改革案、④年金制度改正の説明などを提起しました。



2013春季生活闘争特集

連合鳥取2013春季生活闘争 要求・回答・妥結状況[6月27日現在]

○調査対象 123組合 ○登録組合 106組合

賃金

○要求提出組合 76組合⇒平均賃上げ方式 71組合、個別賃金方式 5組合
 ○回答・妥結組合 68組合⇒平均賃上げ方式 63組合、個別賃金方式 5組合
 ○要求未提出、賃金カーブ維持分を確認 14組合 ○人勧準拠 1組合

○平均賃上げ方式 (ペアのみ登録組合)

| 平均賃上げ方式 | 要 求 | | 回 答 ・ 妥 結 | |
|---------|-----|--------|-----------|--------|
| | 組合数 | 金額 (円) | 組合数 | 金額 (円) |
| 組 合 平 均 | 1 | 1,396 | 1 | 698 |

| 要 求 | 平均賃上げ方式 (体系維持相当+賃金改善) | | 組合数 | 金額 (円) | 集計組合数 | 率 (%) | 集計組合数 |
|-----------|-----------------------|---|-----|--------|-------|-------|-------|
| | 単純平均 | 計 | | | | | |
| 要 求 | 従業員 | 計 | 70 | 5,378 | 58 | 2.47 | 46 |
| | 300人以上 | | 24 | 6,080 | 22 | 2.66 | 18 |
| | 299~100人 | | 17 | 5,221 | 14 | 2.39 | 12 |
| | 99人以下 | | 29 | 4,775 | 22 | 2.32 | 16 |
| 回 答 ・ 妥 結 | 従業員 | 計 | 62 | 3,375 | 53 | 1.65 | 34 |
| | 300人以上 | | 24 | 3,872 | 21 | 1.53 | 15 |
| | 299~100人 | | 16 | 3,276 | 13 | 1.58 | 11 |
| | 99人以下 | | 22 | 2,895 | 19 | 1.97 | 8 |



一時金

○要求提出組合 年間 38組合、夏季 8組合
 ○回答・妥結組合 年間 34組合、夏季 6組合

| 一 時 金 | | 要 求 | | | | 回 答 ・ 妥 結 | | | | |
|-------|----------|--------|-----------|-----|-------|-----------|-----------|-----|-------|----|
| | | 金額 (円) | 集計組合数 | 月 数 | 集計組合数 | 金額 (円) | 集計組合数 | 月 数 | 集計組合数 | |
| 年 間 | 従業員 | 計 | 852,944 | 13 | 4.57 | 29 | 850,965 | 13 | 3.73 | 24 |
| | 300人以上 | | 1,176,378 | 6 | 4.63 | 9 | 1,043,776 | 6 | 3.56 | 6 |
| | 299~100人 | | 714,000 | 4 | 4.85 | 11 | 643,315 | 6 | 3.99 | 11 |
| | 99人以下 | | 391,333 | 3 | 4.17 | 9 | 940,000 | 1 | 3.46 | 7 |
| 夏 季 | 従業員 | 計 | 517,078 | 4 | 2.23 | 6 | 322,417 | 5 | 1.44 | 3 |
| | 300人以上 | | 650,000 | 2 | — | 0 | 416,500 | 2 | 0.50 | 1 |
| | 299~100人 | | — | 0 | 1.50 | 1 | 120,000 | 1 | — | 0 |
| | 99人以下 | | 384,157 | 2 | 2.37 | 5 | 329,543 | 2 | 1.44 | 2 |



■一時金 (業績連動式) = 5組合 (年間分 2組合、半期分 0組合、区分不明 3組合)

地域ミニマム賃金

○要求提出 4組合 水準目標をクリアしていないが要求せず 5組合
 ○回答・妥結 現状維持 2組合

連合鳥取重点取り組み課題

○要求提出 94組合、要求せず労使協議 5組合、何もしていない 7組合、人勧準拠 1組合

| 取り組み項目 | 取り組みレベル | 組合数 | 回 答 ・ 妥 結 | 組合数 |
|--------------|--------------------------|------------|---------------------|--------------|
| 非正規労働者への取り組み | ○処遇改善 | 16組合 | ○処遇改善 | 7組合 |
| | ○その他の取り組み | 6組合 | ○その他の改善 | 1組合 |
| 企業内最低賃金 | ○取り組み | 15組合 | ○水準引上げた | 4組合 |
| | ※対象者 パート等含む全従業員 組合員のみ | (3) (5) | パート等含む全従業員 組合員のみ | (0) (3) |
| 協定化 | ○取り組み | 9組合 | ○協定化した | 1組合 |
| | ※対象者 パート等含む全従業員 組合員のみ | (0) (7) | パート等含む全従業員 組合員のみ | (0) (1) |
| 総実労働時間短縮 | 時間外労働削減 | ○取り組み | 9組合 | |
| | 年休の取得促進 | ○取り組み | 11組合 | |
| 時間外労働削減 | 年休付与日数増 | ○取り組み | 3組合 | ○付与日数増日 |
| | 所定労働時間短縮 | ○取り組み | 5組合 | ○所定労働時間短縮 |
| 65歳まで雇用確保 | 時間外割増率引上げ | ○取り組み | 8組合 | |
| | 制度導入 | ○取り組み | 18組合 | ○制度導入 |
| 組合員化 | 制度導入 | ○取り組み | 5組合 | ○春闘とは別途、継続協議 |
| | 組合員化 | ○取り組み | 5組合 | |

2013 平和行動スタート

今年も連合の「平和運動強化月間(6月~9月)」が沖縄[6月23日(日)~24日(月)]を皮切りにスタートしました。

2013 平和行動 in 沖縄



沖縄集会へは連合鳥取より4人が参加しました。

- 2013平和行動 in 広島 8月5日(月)~6日(火)
ピースウォーク・連合2013平和広島集会・ピースキャンドル
- 2013平和行動 in 長崎 8月8日(木)~9日(金)
連合2013平和長崎集会・ピースウォーク・万灯流し
- 2013平和行動 in 根室 9月14日(土)~15日(日)

《連合鳥取ピースウォーク》

中 央(中部)

倉吉交流プラザ
視聴覚ホール

7月28日(日) 10時~

・杉正太郎 講演&ミニコンサート

演出家/構成作家/パントマイマー
社会風刺コント集団「ザ・ニューズペーパー」を結成 構成・演出を担当
・デモ行進



東 部 8月3日(土) 9時30分~ さざんか会館

・ドキュメンタリー映画「戦争をしない国」上映
・デモ行進

西 部 7月27日(土) 9時~ 博労座に集合

・平和行進から大山寺(本堂)にて平和祈願
・平和行進から阿弥陀堂にて座禅

※詳しくは各地協までお問い合わせください。

“ザ・議員”

松本 熙

ひろし 境港市議会議員

私は県立学校教員として37年間勤めて最後の赴任校が県立米子養護学校でした。知的障がいの教育に関わる内に、学校の外から教育問題に取り組むことが必要と感じて、2006年2月に境港市議会で議席を与えていただきました。

今、政治に求められることは、基本理念に掲げた「生活者・納税者・労働者の立場に立った共生社会」の実現であり、目指すべきは「強い国よりやさしい社会」だと考えています。障がい者をはじめ子どもやお年寄りなどすべての生活弱者を守るために、私はたとえ一人でも地域の安全・安心社会をめざして声を届けます。



憲法講座の様子 (境港市中央公民館)

津川 俊仁

しゅんじ 北栄町議会議員

人権、平和そして雇用の確保(仕事の創造)

現在、戸籍などの個人情報の不正取得問題が全国で指摘されています。それを抑制するために、本人通知制度が県内15市町村で導入されました。北栄町でも今年4月から導入されましたが、まだまだ認知度は低く登録者数が少ないのが現状です。

福島第一原発の収束はまだ見えません。安全な原発がないのであれば、原発にかわる再生可能エネルギーの開発とセットで地方の雇用や仕事の創造ができないのか、そんなことを日々考えています。

また、昨年から部落解放同盟鳥取県連合会の役員の一員として勉強させていただいています。さらなる連帯と共闘ができればと思っています。



議会の復興支援視察に参加

今回の参議院選挙から、インターネットを使った選挙運動が、出来るようになりました。

ネット選挙解禁でできること
一般有権者(労働組合)

| |
|---------|
| ウェブサイト |
| SNS |
| 電子メール |
| 有料ネット広告 |

解禁される情報発信方法

処罰となる禁止行為

| | |
|------------------|-----------------|
| 電子メールを使った選挙運動 | 候補者に関して虚偽の公開 |
| 未成年者の選挙運動 | 氏名を偽っての通信 |
| HPや電子メール等を印刷して頒布 | 悪質な誹謗中傷行為 |
| 選挙運動期間外の選挙運動 | 候補者等のウェブサイトの改ざん |

※本内容は総務省HPから抜粋した概要であり、詳しくは総務省HPをご覧ください。

ネット選挙運動総務省

Information

参加者募集! ※詳しくは、連合鳥取事務局へお問い合わせください。

| | |
|--------------------------|---|
| 青年委員会「学習会」 | |
| ◇日時 | 7月13日(土) 10時00分~11時30分 受付 9時30分~ |
| ◇場所 | 倉吉未来中心・セミナールーム3 |
| ◇内容 | 働くみんなのナショナルセンター |
| ◇講演 | 「連合ってなに?」~その歴史と活動を知る~ |
| 女性委員会「産別交流会」 | |
| ◇日時 | 8月18日(日) 受付 9時30分~ 開会 10時00分~ |
| ◇受付場所 | 「水車の郷」と「倉吉市役所開金庁舎」の2箇所設置 |
| ◇内容 | 「水車の郷体験工房」にてそば打ち体験 &試食、意見交換 |
| 連合鳥取「第9回ユニオンスクール」 | |
| ◇日時 | 8月24日(土) 10時00分~16時30分 |
| ◇場所 | 倉吉未来中心・セミナールーム3 |
| ◇内容 | ①富士社会教育センターより講師を招き、 講義とグループワーク ②講演/労働者福祉向上の意義と取り組み方 「労働金庫や全労済、生協の目的」 |

投票に行こう!
希望と安心の選挙

第23回 参議院選挙

「梅雨」と書いて「つゆ」「ばいう」と読む場合がある。今は当たり前前に「つゆ」と読んでいるが、どう読めば「つゆ」なのかと問われると正直苦しい。「ばいう」とは、中国から伝わってきた言葉で、長雨によって「黴(カビ)」がよく生えるから「黴雨(ばいう)」と言っていたが、語感が悪いので後に「梅雨」とあらためられたという説▼「つゆ」とは、梅の実が熟す時期の雨で、「露」からきていると考えられるが、梅の実が熟して潰れる時期であることから、「潰ゆ(ついゆ・つゆ)」と言われる説もあり、「つゆ」の語源は諸説あると言われる▼梅雨明けの時期は、まさに政治闘争真っ只中。働く者や生活者の声を国政の場に届けるため、一人ひとりの行動が、政策や安心社会の実現につながる。全組合員の結集で「熱い夏」にしよう。(米)

てんごんごらせ

